

# A-4

## さんじげん つく 三次元のやじろべえを作ろう

- 特徴：① 左右の、針金長さや粘土（重り）の大きさが違ってても、釣り合います  
② 「釣合」を知ることができ、高校生の教材にもなります  
③ 机上のインテリアにもなります、（大きなものを作ると）庭のインテリアにもなります  
④ 同じものは作れません（常にオンリーワンです）

- 材料：① 発泡ポリエチレンのブロック（およそ4×4×2）---- 1個  
普通の発泡スチロールでもオッケーですが、簡単に砕けてしまいます。発泡ポリエチレンは、数回針金をさしても割れません  
② 針金（18番または太さ1mm位）で、素手で曲げられるもの（長さおよそ60cmと10cm）---- 各1本  
③ 油粘土または紙粘土（直径：1~2cm位の球状の大きさ）---- 2個  
紙粘土を使うと、乾いた後で、カラフルなものにすることができます

道具：① ペンチ、

② カッター

➤ 会場 で皆さんと一緒に作ります

☆ 注意すること：針金の先を自分の顔や隣の人に、絶対に触れない（向けない）

カッターで指などを切らない

- 作り方：(1) 材料の発泡ポリエチレンのブロックを、顔に見立てて、長さおよそ60cmの針金を差込んで、「腕」らしき部分を作ります  
(2) 長さca. 10cmの針金を発泡ポリエチレンのブロックに差込んで、「支点」を作ります  
(3) 粘土を針金（60cm）の両端につけます  
(4) 全体の傾きなどを、自分の思うような形状に調整します（この(4)の作業が一番大変です。けど「釣り合い」を知る上で、最も重要です

